

【平成29年度 中連協会員会社訪中団 実施報告書】

1. 実施期間：平成29年3月14日（水）～3月16日（金）
2. 訪問地：北京
3. 訪問目的：
中連協会員と中国側旅行会社間の情報交換及び中連協会員間の相互交流
4. 行程

	日付	時間	行程	食事	宿泊
1	3/14 (水)		各自ホテルへチェックイン		
		18:30	市内レストランへ移動 市内レストランにて夕食	夕食	京倫飯店
2	3/15 (木)		ホテルにて朝食	朝食	
		9:00	ホテル出発 3班に分かれ現地旅行会社訪問 途中市内レストランにて昼食(班ごと)	昼食	
		18:00	ホテル到着		
		18:30	ホテルにて意見交換会	夕食	京倫飯店
3	3/16 (金)		朝食後、各自にて帰国	朝食	

5. 中連協参加者 吉村 会長、久野 副会長、会員 17社、事務局 3名 合計22名



中連協会員会社訪中団 参加会社名簿(北京)

	所属
1	JTB グローバルマーケティング&トラベル
2	(株)日本旅行
3	Oriental(株)
4	(株)アイ・ティー・ビー
5	株式会社 全旅
6	株式会社 KNT-CT グローバルトラベル
7	株式会社ベネフィット
8	GSE corp. 南薩観光 株式会社
9	ドリーム・ジャパン 株式会社
10	カモメツーリスト株式会社
11	株式会社ジェイワイド
12	中青旅日本 株式会社
13	ANA セールス株式会社
14	株式会社 日中友好旅行社
15	グローバル IBARAKI
16	イーエイエス株式会社
17	株式会社 ZERO PLANNING

6. 行事

■ 3月14日(水) 18:30~20:30 中連協会員夕食会(市内レストランにて)

北京到着後、今回の訪中団の結団式を兼ねた中連協会員のみ夕食会を開催。

今回は2月1日より、個人観光ビザの帰国報告書が廃止され、中連協規則の大きな変更があり、話題も豊富で活発な意見交換がなされた。今回初めて訪中団に参加された会員もあり、会員各社の意思疎通に広がりを見せていた。翌日の中国旅行会社の訪問に際しての質問事項などの関しても討議され、会員間の交流が図られた。



■ 3月15日（木）9：00～17：00 中国旅行会社訪問

3班に分かれて、各班ごとに午前1社、午後2社 合計3社を訪問した。訪問した旅行会社も伝統的な大手旅行会社やOTA主流の旅行会社など各社特色があり、意見交換が活発に行われた。特に今年は、通訳案内士法の改正、ランドオペレーターの登録制度、民泊法による登録制度の開始、そして、個人観光ビザの帰国報告書の廃止など、日本側のトピックが豊富で予定時間を超えて意見交換が行われた。

3月15日（木） 北京旅行会社訪問スケジュール		
班	時間	会社名
A	10：00～11：00	北京鳳凰假期国際旅行社
	14：00～15：00	中青旅控股股份有限公司
	15：30～16：30	中国婦女旅行社
B	10：00～11：00	中国旅行社総社
	14：00～15：00	衆信旅遊集団
	15：15～16：15	竹園国際旅行社有限公司
C	10：00～11：00	北京携程国際旅行社有限公司
	14：00～15：00	中国国際旅行社総社
	16：00～17：00	北京凱撒国際旅行社有限責任公司



■ 3月15日（木） 18：30～20：30 （ホテル宴会場にて）

在北京日本国大使館、日本政府観光局（JNTO）北京事務所、及び日本航空上海支店からの方々を来賓としてお迎えし、中国側旅行会社10社20名様及び中連協会員等を含めて総勢55名程度の参加となった。

冒頭の挨拶で中連協、吉村 会長から来賓の方々と中国側旅行会社への謝意を述べた後、昨年度中連協会員旅行会社の取り扱い人員は約450万人であり、訪日中国人数全体の61%を占めており、非常に重要な組織となっている。また本年2月1日より中国人個人観光客の「帰国報告書」が廃止され、年々比重が増してきている「個人観光客」の取扱いを拡大する上で大きな1歩となる事に触れ、中日旅行会社の発展を祈念して、開会となった。

乾杯のご発声は中連協会員会社を代表して、（株）アイ・ティ・ビーの周 文社長により、行われ各テーブルの意見交換会が開始された。各テーブル及びテーブルを超えて、中国側、日本側熱心に意見交換をおこなった。

閉会に挨拶は、久野 副会長より「日中友好平和条約締結40周年」のこの記念すべき年の意見交換会にご参加いただいた関係各位に対して謝意を述べるとともに今後共中日双方の交流の拡

大に引き続きのご支援をお願いして終了した。

